

新水道ビジョン(案)

検討会構成員に聞く感想とポイント

「新水道ビジョンの検討会にはどのようなスタンスで取り組まれましたか。」

服部 水道の安全・安心を持続的に確保していくためには、水道の技術者、技能者の確保や育成が欠かせません。水道事業者では、技術者が減少してきているので、どうこれを補っていくか、またその解決策の一つとなる公民連携のあり方に力点を置きながら発言してきました。

「これまでの水道は、直営で事業を進めてこられ、世界でも素晴らしいレベルの水道を構築してきました。」

「築ってきました。しかし、水道界を取り巻く環境をみると、少子高齢化や人口減少社会の顕在化、さらに老朽化施設の増加、水道事業体職員の減少など、水道界は百数十年の歴史の中で初めてパラダイムシフトに直面していると思っています。このパラダイムシフトに対し、水道界全体でどう意識を変えて取り組んでいくかということが新水道ビジョンの検討のポイントだったと思います。」

「ですが、採用がままならず、人材の確保に苦慮しているといわれています。ですから、大規模事業者が周辺の中小

「事業者、技能者などの人材の確保が重要になってきます。技術者は1、2年では育ちませんが、人材の確保は長期的視野に立って進めなければなりません。水道事業者の現状をみますと、規模により多少の違いはありますが、採用がままならず、人材の確保に苦慮しているといわれています。ですから、大規模事業者が周辺の中小

「事業体を支えたり、広域化を進めたりするとともに、民間活力を活用いただくことが必要となって来ていると思います。また、東日本大震災の教訓から、災害時や事故時などの緊急時には、官民、官民、官民など多重的なチャネルを構築していることが重要だと考えています。」

「また、水道施設維持管理業務委託の積算や発注方法についての公民連携ツールを策定する際のアドバイスを日本水道協会や水道技術研究所センターの会合で行うとともに、各事業体に連携ツールのPR、水道事業者のパートナーとなる民間企業の実績や技術力を紹介しています。」

「新水道ビジョンで重要な点、あるべき姿

「民間企業の中長期ビジョンですと、重点施策や目標、目標達成までの工程表、事業の優先順位などが細かく示されています。新水道ビジョンは、民間の中長期ビジョンとは性質が多少異なりますが、施策の工程表、数値目標、プライオリティを

「また、学生が新水道ビジョンを見て、水道事業に携わりたいと思うような魅力があるものにしなくてはならないとも思っています。私が水道事業に関わって強く思ったのは、水道は非常に重要な基本的な社会インフラであるということです。基本的な社会インフラとは、人間が生活していく上で根源的なもので、市場原理と距離を置いた政治・イデオロギーに左右されにくいものだと思っています。その最たるものである水道事業は、職業的な専門家が職業的な規範・倫理で運営するシステムだと思っています。こういったことを社会全体で基本的な認識にしないと、様々な混乱を招くものになります。職業的な専門家である技術者の育成・確保できれば、水道は維持され続けると思っています。ですから、技術者の減少ということをマクロ的に捉えて技術者をしっかり確保

「新水道ビジョンの策定は、時代のニーズに適合した水道システム構築へのスタートに立っただけですので、国や水道事業者、民間企業が連携して、これから具体的などのような施策を打ち出していくのかということが問われているのだと思います。当協会も活動を通して、安心・安全で強靱な水道の構築のため、全面的に協力したいと考えています。」

技術者の確保が最重要

官民で多重的なチャネルを

「技術者の確保は非常に重要な問題です。水道運営管理協会では、人材の育成にも力を入れていますね。」

「民間企業の中長期ビジョンですと、重点施策や目標、目標達成までの工程表、事業の優先順位などが細かく示されています。新水道ビジョンは、民間の中長期ビジョンとは性質が多少異なりますが、施策の工程表、数値目標、プライオリティを

「また、水道施設維持管理業務委託の積算や発注方法についての公民連携ツールを策定する際のアドバイスを日本水道協会や水道技術研究所センターの会合で行うとともに、各事業体に連携ツールのPR、水道事業者のパートナーとなる民間企業の実績や技術力を紹介しています。」

「また、水道施設維持管理業務委託の積算や発注方法についての公民連携ツールを策定する際のアドバイスを日本水道協会や水道技術研究所センターの会合で行うとともに、各事業体に連携ツールのPR、水道事業者のパートナーとなる民間企業の実績や技術力を紹介しています。」

「また、水道施設維持管理業務委託の積算や発注方法についての公民連携ツールを策定する際のアドバイスを日本水道協会や水道技術研究所センターの会合で行うとともに、各事業体に連携ツールのPR、水道事業者のパートナーとなる民間企業の実績や技術力を紹介しています。」



水道運営管理協会代表理事
服部 博光氏

「新水道ビジョンで重要な点、あるべき姿

「民間企業の中長期ビジョンですと、重点施策や目標、目標達成までの工程表、事業の優先順位などが細かく示されています。新水道ビジョンは、民間の中長期ビジョンとは性質が多少異なりますが、施策の工程表、数値目標、プライオリティを

「また、水道施設維持管理業務委託の積算や発注方法についての公民連携ツールを策定する際のアドバイスを日本水道協会や水道技術研究所センターの会合で行うとともに、各事業体に連携ツールのPR、水道事業者のパートナーとなる民間企業の実績や技術力を紹介しています。」

「また、水道施設維持管理業務委託の積算や発注方法についての公民連携ツールを策定する際のアドバイスを日本水道協会や水道技術研究所センターの会合で行うとともに、各事業体に連携ツールのPR、水道事業者のパートナーとなる民間企業の実績や技術力を紹介しています。」

「また、水道施設維持管理業務委託の積算や発注方法についての公民連携ツールを策定する際のアドバイスを日本水道協会や水道技術研究所センターの会合で行うとともに、各事業体に連携ツールのPR、水道事業者のパートナーとなる民間企業の実績や技術力を紹介しています。」

（月島テクノメンテサービスマン代表取締役社長）